

## 古来の職人的技法とアヴァンギャルドな技法を大胆に 採用した魅惑的な HYT T1 チタン ギョーシェ

古くからのコンセプトやクラフトマンシップと、ユニークで現代的な時計製造技術を組み合わせた、わずか8本の限定エディションのタイムピース。

催眠術のように魅了するHYT T1 チタン ギョーシェは、歴史的な折衷様式の時計製造の魅力的なストーリーを語っています。この時計のユニークな流体機械式ムーブメントは画期的なテクノロジーの驚異ですが、そのインスピレーションの源は遥か遠い昔にさかのぼります。流体によって時を告げるHYTのシステムのインスピレーションの源は、古代エジプトにさかのぼります。最古の水時計は、紀元前1417～1379年頃、エジプトのファラオ、アメンホテプ3世の治世に使われていました。HYTは当時の原理を受け継ぎながら、腕時計に適したテクノロジーに変換しました。さらに、8本限定のHYT T1 チタン ギョーシェでは、この際立って現代的な時計にもうひとつの伝統的なコンセプトを導入しました。数世紀前に初めて時計製造に採用された、ギョーシェ彫りの職人技です。

「古代エジプトの時代に由来する原理と、おそらく古代にすでに存在し、1700年代後半に時計製造に導入された装飾技法とを組み合わせた、現代的なスタイルの腕時計」というと、意味をなさない影響の寄せ集めに聞こえるかもしれません。しかし、HYT T1 チタン ギョーシェは、これが意味をなすことを証明しています。まず、不思議な起源をもつ、繊細で動的かつ複雑な模様が刻まれた、大ぶりの輝くブルーの文字盤を見てみましょう。起源に関する数多くのストーリーと同様、必ずしもすべてについて事実確認が取れているわけではありません。そのため、もどかしい部分もありますが、この点が神秘性を添えています。

18世紀後半にさかのぼるフランス語の「ギョーシェ」という言葉を取り上げてみましょう。これは、フランスで働いていた「ギヨ」という名の技師に由来しています。正確な日付や、ギヨ氏のファーストネームは不明ですが、この技師がギョーシェ模様をつくる工具ないし旋盤を考案・製造したといわれています。この技法の考案者の名前をとったというのは、ありそうな話です。1770年代には、古代のオリエント、古代ギリシア、ローマの建築にみられる交差する渦巻や重なる渦巻、その他の形状の反復的な建築模様や、中世初期のアングロサクソン芸術の織り模様に対しても、さかのぼって「ギョーシェ」という言葉が使用されていたことは事実です。

# 時代をつなぐ HYT T1 チタン ギョーシェ

ギョーシェ彫りの時計の文字盤をつくるには、時間、工具、技能、才能が必要だということは、昔も今も変わりません。ギョーシェ彫り職人は、古めかしいローズエンジン旋盤、直線旋盤、錦織機械を使用して、金属に精巧で複雑な模様を刻んでいきます。文字盤にギョーシェ模様を刻むには、まず文字盤が正しい方向になるようにギョーシェ彫り職人が機械を位置決めすることから始まります。次に、刃を押しつけ、その力加減を変化させることで、また異なった仕上がりを生んでいきます。こうして、綿密な構造の文字盤ができ、比類のない、鮮やかで躍動感にみちた光の反射が得られるようになります。ギョーシェは、昔は時計専門学校で教えられていた、人気のある技法でした。たとえば、1896年から1932年までは、スイスの時計づくりで名高いラ・ショー・ド・フォンの街にある応用工芸学校では、ギョーシェ彫りに関する定員10名の授業が行われていました。これは遠い昔のことで、今では手作業によるギョーシェ彫りの技法をマスターしている専門職人は、ほんの数人しか残っていません。HYTは、現代的なT1の限定エディションの見事なブルーコーティングの真鍮の文字盤に、手作業によるギョーシェ彫り装飾を施したことを誇らしく思っています。

## 職人技への愛着

HYTのCEO、ヴァヘ・ヴァーツベドは、T1コレクション、とりわけ新しい限定エディションの目を惹く文字盤のウォッチに対し、強い思い入れがあります。「2024年のT1シリーズの導入は、タイムピースの快適性と着用性を高めながら、初めてスケルトン加工を施さない文字盤としたことで意表を突き、また伝統的な手法で表現することが可能になったという点で、HYTにとって重要なステップとなりました。T1シリーズコレクションは、私たちが深い愛着を抱いている魅力的な職人技を導入できるプラットフォームのようなものです。その最初の例がT1チタン ギョーシェです。世界限定わずか8本で、ギョーシェは完全に手作業でつくられています。伝統的な時計製造にみられる非常に純粋な表現と、私たち独自の流体による時間表示とを組み合わせたタイムピースを発表することができ、大変誇らしく思っております」

大ぶりのブルーの文字盤には3種類の模様が刻まれています。メインダイヤルの中心からは躍動感あふれる円形模様が輝き、境界をなすアラビア数字が置かれたフランジには線状の模様が施されています。第3の模様は、2時位置と3時位置の間のパワーリザーブを示す小さなサブダイヤルに見られます。これはサンレイ模様で、繊細なタッチを添えると同時に抜群の視認性を示し、忘れることなく情報を読み取るのに役立ちます。入念に彫り込まれた立体的な模様は、物理的にはごく小さなものでありながら、光が当たると壮麗な印象を生み出します。

## 新しいデザインの地平を開拓する第3世代 T1

T1 チタン ギョーシェは、第3世代の T1 タイムピースです。2024 年春、T1 コレクションの4つのモデルがデビューし、モダンなルックス、人間工学に基づいたデザイン、スケルトン加工を施さない控えめな文字盤によって時計業界を驚かせました。この T1 シリーズは、HYT のまったく新しいデザインコンセプトの幕開けとなりました。同じ年、T1 ミレジメ エディションも発表されました。ヴィンテージワインにインスピレーションを得たカラフルな文字盤の各モデルは、それこそヴィンテージワインのように、2024 年9月から2025 年4月までの期間のみ製造されました。

T1 チタン ギョーシェという名前に含まれる「T」の文字は「伝統」(トラディション)を意味しているため、引き続きヴィンテージのテーマを追求するのが筋です。今回は、以前にもまして冒険的に、また大胆になりました。八角形のナチュラルカラーのブラックコーティングを施したソフトなサテン仕上げのチタン製ケースは、歴史的な折衷様式のタイムピースにとってコントラストの効いた基礎となります。面取りしたケースの直径は 45.3 mm、厚さは 17.2 mm です。こうしてプロポーションのとれたケースは、非常に着用しやすいものとなっています。しかし、これはバランスのとれたサイズと人間工学に基づいたケース形状だけが理由ではありません。

人間工学に基づいてつくられたケースの比較的短い直径が、急角度でラバーストラップまたはファブリックストラップとつながっていることで、T1 はほぼどのような腕の太さの方でも安定して快適に身につけることができます。ストラップとケースがシームレスに溶け込んでいることも、外観上の美しさを添えています。もうひとつの興味深い外観上の要素は、人間工学にも基づいている 2 時位置と 3 時位置の間に組み込まれたリューズです。リューズをこの位置に設け、1 つの長いリューズガードを取り付けたことで、腕にリューズの跡がつくことはありません。

## 流体時間の源を探る

伝統の香り高いギョーシェ彫りの文字盤が、流体時間表示にとってこれほど見事にふさわしい装飾になるとは、誰が思ったことでしょうか。しかし、HYT はこれを考案し、実現しました。時刻は、レトログラード式流体による時間表示と、大ぶりの鮮やかなブルーの文字盤の中央にある大きな分針によって表示されます。ハイテクのホウケイ酸ガラス製キャピラリーチューブは、6 時位置でどこからともなく出現しています。チューブの内部では、ブラックの流体がフランジ上の時を示す目盛を通過しながら移動します。このチューブがどこから来ているのかは、時計を裏返すとわかります。

T1 チタン ギョーシェの透明なケースバックを眺めると、流体時間表示のしくみを理解する手がかりが得られます。時間表示に流体を利用するという独創的なアイデアは、1990 年代後半、リュシアン・ヴィヤモーという人が考案しました。スイスの連続発明家で、個人名義で 118 件もの特許を出願し、24 件の特許を取得した人です。しかし、このアイデアが実現されるまでには、10 年以上かかりました。2012 年に HYT の最初のウォッチにおいてデビューしたムーブメントをご覧になれば、それも無理はないと思われるでしょう。伝統的な機械式時計の原理

と、それとは異質の、敵対さえする液体とを組み合わせるといのは、前代未聞のことだったからです。T1 チタン ギョーシェに搭載されたムーブメント、キャリバー 501-CM は、12 年間に及ぶ絶え間ない進化の賜物です。この部品数 352 個、振動数 4 Hz、パワーリザーブ 72 時間の手巻き式ムーブメントは、信頼性の高いユニークな微小機械です。

時を示すために使われる 2 個の小型ベローズは、モーターサイクル エンジンのピストンのようだと呼ぶ人もいます。片方のベローズが圧縮すると、他方のベローズが膨張し、文字盤側でブラックの流体が動くのです。

## 伝統と奇抜さとの出会い

ムーブメント、キャリバー 501-CM はミニチュアのパワープラントのように見え、圧倒的で、魅力的で、完全にユニークです。352 個の部品からなるムーブメントは伝統的な高級時計の仕上げが施されており、他の奇抜な部品と視覚的コントラストを成しています。たとえばベローズは合金製で、隔壁は髪の毛のわずか 4 分の 1 の厚さしかありません！

8 本限定の T1 チタン ギョーシェには、2 本のストラップが付属します。ラグジュアリーなブルーのアリゲーターレザーストラップと、スポーティなピュアブラックのラバーストラップです。どちらのストラップも、サテン仕上げとサンドブラスト仕上げを施したチタン製ピンバックルを採用しています。丈夫で扱いやすいクイックチェンジシステムにより、簡単にストラップを交換し、ドレスリーな装いとカジュアルな装いを切り替えることができます。

文字盤に輝くようなギョーシェ彫りを施し、折衷様式とした T1 チタン ギョーシェは、若々しいブランドの活力、野心、大胆なデザイン上の特徴を物語っており、ホワイトのスーパールミノバ® を塗布したエッジの効いた大きいスケルトン加工の中央の分針によって生まれるコントラストは、HYT の無限の創造的な折衷主義を強調しています。境界を越え、偏見のない時計愛好家の心と魂を魅了するタイムピースです。古代からのインスピレーション、クラシックな装飾技法、そしてアヴァンギャルドなマイクロ流体による時計という不可思議な組み合わせにより、美しさの点でも極上のタイムピースとなっています。人間工学に基づいた T1 チタン ギョーシェは、驚くほど快適に着用できます。つまり、あらゆる点で並外れた時計です。

# 技術仕様



モデル

## T1 チタン ギョーシェ

リファレンス : H03421-A

限定エディション : 8 本

希望小売価格 : 64,000 スイスフラン (税抜き)

刻印された裏蓋 : T1-55

写真 (参考まで)

### ケース

- チタン製シルバー & ブラック DLC コーティングサテン仕上げ
- チタン製リュース
- 反射防止加工のサファイアガラス

### 文字盤

- ブルー コーティング手作業ギョーシェ仕上げ真鍮
- ロジウムプレートのアプライド、ブラック & ホワイト & レッドデカル、SLN ホワイト C1/WL
- ホウケイ酸キャピラリーチューブ (液体色 : ブラック)
- 50m 防水

### ムーブメント

- Ref.: 501-CM (352 個)
- タイプ : 機械式
- 振動数 : 28,800 振動/時 (4 Hz)
- 石数 : 41
- 巻き上げ : 手巻式
- パワーリザーブ : 72 時間
- 仕上げ : 繊細なサテンブラスト仕上げとサテン仕上げ
- コーティング : ブラック コーティング

### 機能

- レトログランド式流体時間表示
- センター分針
- パワーリザーブ表示針

### 針

- ロジウムプレートのサテン仕上げの分針、ホワイト SLN
- ロジウムプレートのサテン仕上げのパワーリザーブ表示針、ホワイト SLN

### ストラップ

- ピュアブラック ラバーストラップ
- ブルー アリゲーターストラップ

### クラスプ

- チタン製ピンバックル
- サテン & サンドブラスト仕上げ

### サイズ

- ケース径 : 45.30 mm
- 長さ : 46.30 mm
- 厚さ : 17.20 mm

HYT

5

HYTWATCHES.COM